

会 社 名 株式会社 スーパー大栄
 コード番号 9819
 問合せ先 専務取締役管理本部長
 小野博司
 TEL (093) 602 - 2770

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 13年 5月 22日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正します。

記

1. 14年 3月期中間業績予想数値の修正（平成 13年 4月 1日 ~ 平成 13年 9月 30日）

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 13年 5月 22日 発表)	16,000	90	25
今回修正予想(B)	15,535	26	18
増減額(B - A)	465	63	43
増減率	2.9	70.8	-
前期(平成13年 3月中間期)実績	15,732	34	87

2. 14年 3月期通期業績予想数値の修正（平成 13年 4月 1日 ~ 平成 14年 3月 31日）

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 13年 5月 22日 発表)	32,000	180	50
今回修正予想(B)	30,200	20	150
増減額(B - A)	1,800	160	200
増減率	5.6	88.8	-
前期(平成13年 3月期)実績	30,928	75	152

3. 理 由

雇用情勢の悪化から消費マインドは依然として好転せず、総じて景気回復が乏しいまま推移いたしました。

当業界においても、個人消費の低迷するなか、消費者の価値観の変化や低価格指向が顕著となり、市場価格全般の低下と相まって業績の圧迫要因となっています。

また、同業他社の価格、サービスの競争激化が著しく、深刻な状況が続いております。

これらの結果、売上高は、当中間期が5月時点の予想に比べて2.9%減の15,535百万円に、通期は5.6%減の30,200百万円に修正、経常利益も中間期が70.8%減の26百万円に、通期は88.8%減の20百万円に修正、又、当期純利益は閉鎖店舗の除却損等の特別損失が発生したため、5月時点で25百万円の黒字予想していた中間期は18百万円の赤字に、通期も50百万円の黒字予想から150百万円の赤字に修正いたします。

以上